

(イ) 国際理解教育 実践や授業のヒントから

～小さなことから始めよう。その芽が、いつか大きくなるかも・・・～

愛南町立城辺中学校 松比良 直

1 宇和島から見える世界

英語教師と旅が好きな自分という視点から国際理解教育について述べたいと思います。

(1) 宇和島とネパール

→ネパールは地震で大きな被害を受けました。過去にネパールと日本の大きな関係を作ったのが、宇和島の岩村医師です。岩村医師は募金を集めるために古切手を集める運動を日本で始めました。そのお金で、ワクチンを買ってたくさんの人を助きました。日本人として、愛媛県人として誇りだと思います。

(2) 宇和島とイチロー→シアトルに店を開いた県人

(3) 宇和島と「えひめ丸」→米国と日本の死生観の違い



2 国際理解教育が私たちに与えてくれるもの（プラスになる点）

- ・ 様々な国や文化を知り、自分の考えや感受性が広がる。
- ・ 日本人としての誇りや日本文化のもつよさの再発見ができる。
- ・ 人とつながり、活動が増え、喜びが増える。
- ・ 広い視点から、「幸せ」や「世界」について考える機会が増える。
- ・ 小さいことに幸せを感じられるようになる。
- ・ 英語学習のモチベーションが上がる。
- ・ 世界の問題を解決することができる。

3 国際理解教育の実践

(1) 1時間、それ以上での活動（学活・道徳・総合的な学習）・・・時間的に厳しいかも

- ・ 「持続可能な社会」や「人権問題学習」の視点があるのが望ましい。
- ・ 推薦図書（次ページ参照）の紹介
- ・ OB、OGの活用…この会場で、日本人学校やJICA経験の先生方をお願いしよう！

(2) ちょこっと国際理解→「よ～し、明日からやってみよう！」

- ・ ミニ活動（クイズ、調理、祝日等の説明、歌など）世界の挨拶、手で食べるカレー
- ・ DVD・・・異文化理解・自国文化理解・人権教育の視点
- ・ 掲示物いろいろ 海外のカレンダー、地図、ポスター、旅行記
- ・ 新聞記事、海外ニュースの活用
- ・ 教師の失敗談、旅行の話
- ・ 外国人との交流（英語・外国語活動、それ以外の活動や行事）ハロウィンの準備等、遠足、釣り大会、奉仕活動、草引き、部活動

4 私の主観ですが、国際理解教育は・・・、

- ・ 結果が出るのに時間がかかる。
- ・ 小学校では、外国語が教科になる前の今が、一番活動を取り入れやすいのではないかな。
- ・ どんな日本に、どんな世界に、どんな自分になりたいかを考える視点を与えてくれる。
- ・ 他文化に接すると、広い視点・豊かな感情を得られる。…例えば、アメリカー日本の視点だけで物事を判断しない視点が、今、必要なのではないかな？
- ・ 世界を変える（かもしれない）…えひめ丸の引き上げもスムーズにできたかもしれない。
- ・ 地球温暖化、防災、南北問題も解決の方向につながるかも。
- ・ 過激派組織 I Sとの交渉も、もっと効果的にできたかも。
- ・ 長い目で見たら、世界からテロを減らすかもしれない。



< 推薦図書 >

★ 小学校での外国語活動についての書籍はけっこうありますが、国際理解教育に関する図書は古いものが多く、絶版のものが見られます。しかし、古書であればオンライン書店などでは簡単に入手できます。

[一般]

- ・ 「異文化理解」青木 保 岩波新書（新書）2001
- ・ 「他文化世界」青木 保 岩波新書（新書）2003

[見るだけでも好奇心くすぐられる]

- ・ 「地球家族ー世界 30 カ国のふつうの暮らし」ピーター・メンツェル他 TOTO 出版 1994
- ・ 「地球の食卓ー世界 24 カ国の家族のごはん」ピーター・メンツェル他 TOTO 出版 2006

[授業に生かせそう]

- ・ 「ワークショップ版 世界がもし 100 人の村だったら<第 4 版>」
山内マスマ 開発教育協会 2014
- ・ 「世界がもし 100 人の村だったら」
池田香代子 Cダグラス・スミス マガジンハウス 2001
- ・ 「身近なことから世界と私を考える授業 ESD実践教材集」 開発教育研究会 2009
- ・ 「コンビニ弁当 16 万キロの旅 食べ物が世界を変えている」
太郎次郎社エディタス 2009
- ・ 「NHK 地球データマップ 世界の”今”から”未来”を考える」
NHK出版 2008
- ・ 「英語の歌とゲーム・活動アイデア集ー総合的な学習や国際理解教育に生かす」
小学館 2000
- ・ 「英語で国際理解教育ー小学校でやってみよう！
(小学 1・2 年版) (小学 3・4 年版) (小学 5・6 年版)」
吉村峰子 グローブ・インターナショナル・ティーチャーズ・サークル小学館 2001